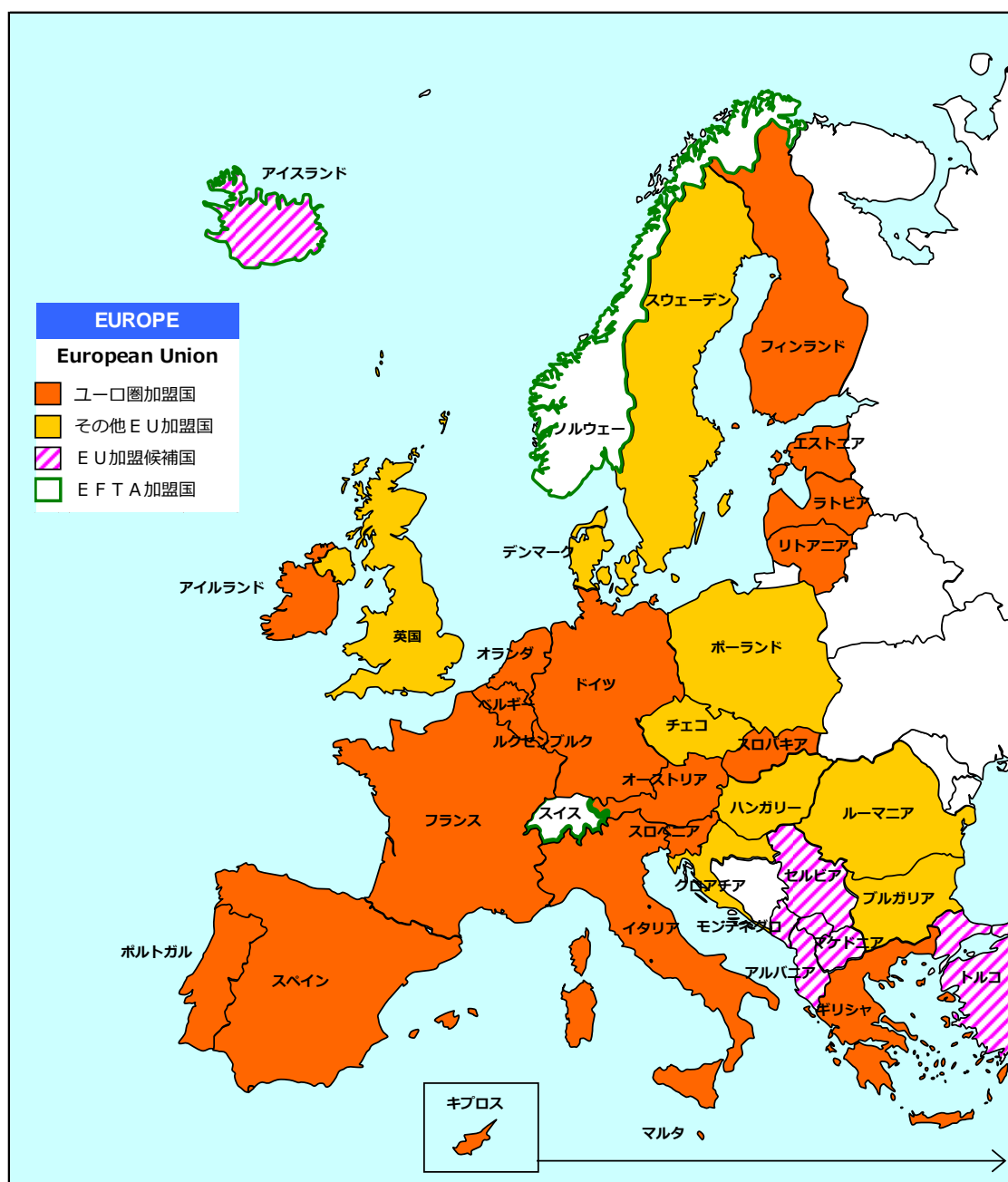


欧州経済アップデート (2015. 2)

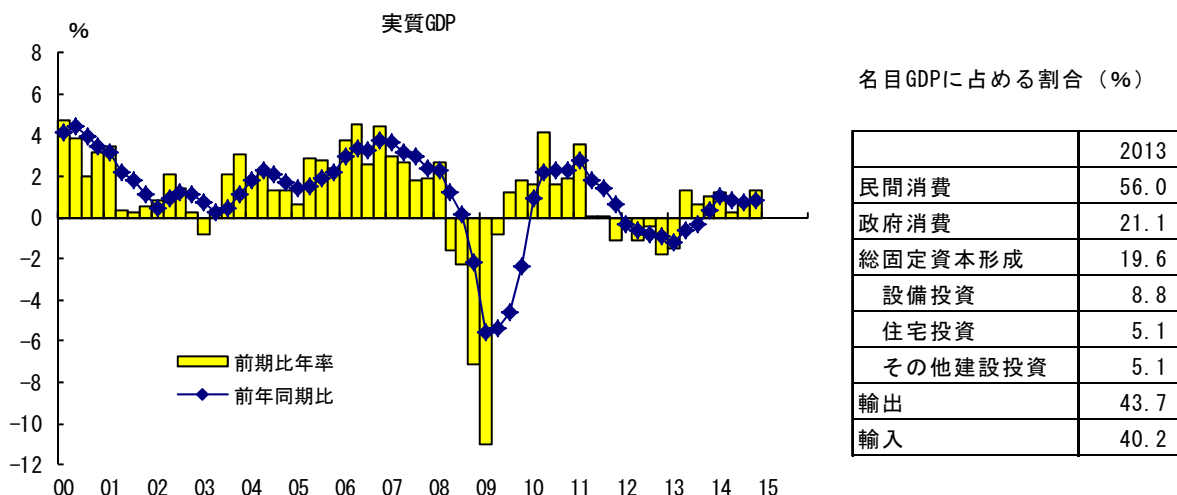
経済調査部
シニアエコノミスト 山崎 加津子



出所：三角形「白地図専門店」サイトより大和総研作成

ユーロ圏 GDP

- 14年Q4の成長率（速報値）は前期比+0.3%とQ3の同+0.2%から若干加速した。低成長ながらプラス成長は7四半期連続となっている
- 14年通年の成長率は+0.9%となり、3年ぶりにプラス成長に復帰した
- なお、14年Q4の需要項目を含むGDP統計は3月6日公表予定



ユーロ圏の需要項目別GDP成長率（前期比：％）

	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4
実質GDP	-0.1	-0.3	-0.1	-0.4	-0.4	0.3	0.2	0.2	0.3	0.1	0.2	0.3
個人消費	-0.3	-0.5	-0.2	-0.5	-0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.5	-
政府消費	-0.1	-0.1	-0.2	0.1	0.0	0.2	0.1	0.3	0.1	0.3	0.3	-
総固定資本形成	-1.1	-1.1	-1.0	-0.4	-2.3	0.7	0.6	0.7	0.3	-0.7	-0.3	-
設備投資	-1.2	-1.3	-0.9	0.2	-2.0	1.2	0.4	1.3	0.1	0.5	0.0	-
住宅投資	0.2	-0.8	-1.2	-1.0	-2.0	0.2	0.7	-0.3	0.6	-1.8	-0.4	-
その他建設投資	-2.3	-1.2	-0.9	-0.9	-3.1	0.1	0.9	0.4	0.3	-1.6	-0.7	-
輸出	1.3	0.6	0.9	-0.9	0.3	1.7	0.7	0.8	0.4	1.4	1.3	-
輸入	0.5	-0.5	0.0	-0.7	0.1	1.3	1.6	0.2	0.4	1.3	1.4	-

ユーロ圏の需要項目別GDP寄与度（前期比：％）

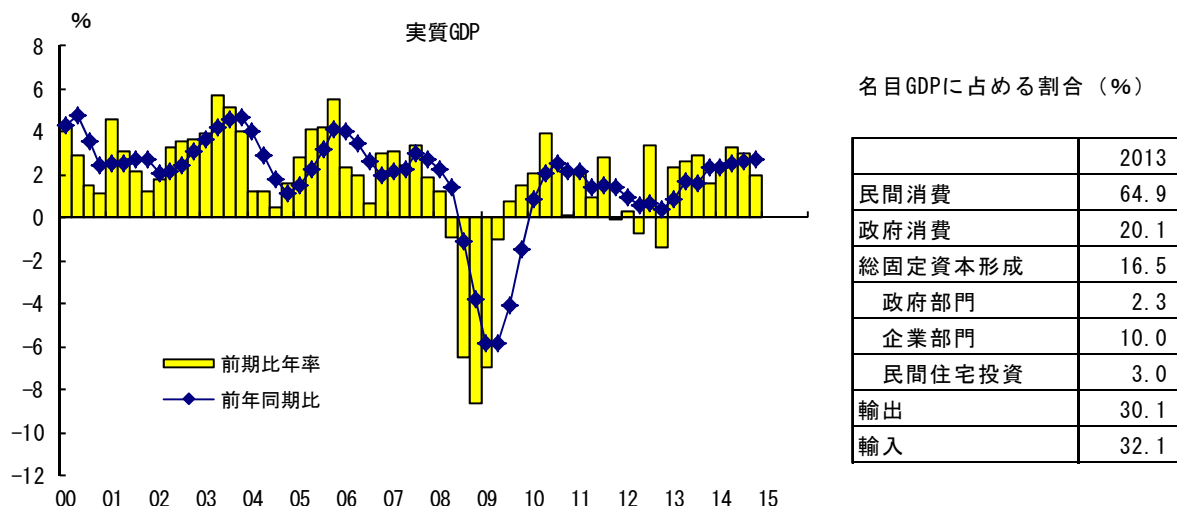
	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4
実質GDP	-0.09	-0.28	-0.11	-0.44	-0.38	0.33	0.17	0.25	0.32	0.07	0.16	0.34
個人消費	-0.15	-0.28	-0.12	-0.25	-0.13	0.07	0.07	0.08	0.09	0.15	0.26	-
政府消費	-0.03	-0.02	-0.04	0.02	-0.01	0.03	0.03	0.07	0.03	0.06	0.06	-
総固定資本形成	-0.24	-0.22	-0.20	-0.08	-0.45	0.13	0.12	0.13	0.06	-0.13	-0.06	-
設備投資	-0.12	-0.12	-0.09	0.02	-0.19	0.11	0.04	0.13	0.01	0.04	0.00	-
住宅投資	0.01	-0.04	-0.06	-0.05	-0.10	0.01	0.03	-0.01	0.03	-0.09	-0.02	-
その他建設投資	-0.12	-0.06	-0.05	-0.04	-0.16	0.01	0.04	0.02	0.02	-0.08	-0.04	-
在庫変動	-0.02	-0.21	-0.14	-0.04	0.10	-0.13	0.29	-0.28	0.12	-0.10	-0.11	-
輸出	0.52	0.26	0.38	-0.37	0.13	0.73	0.31	0.33	0.18	0.60	0.58	-
輸入	-0.20	0.18	0.00	0.28	-0.03	-0.50	-0.62	-0.08	-0.15	-0.51	-0.56	-
純輸出	0.32	0.44	0.38	-0.09	0.11	0.23	-0.31	0.24	0.02	0.09	0.01	-

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

* このレポートに掲載しているユーロ圏データに関するおことわり
 ユーロ圏とは、EU加盟国のうち単一通貨ユーロを導入し、金融政策を欧州中央銀行（ECB）に委ねている国々のこと。15年1月にリトアニアが19番目の加盟国となった。このレポートに掲載されているユーロ圏のデータは、2015年データが公表されているものは19カ国ベース、まだ2014年までのデータしか出ていないものは18カ国ベースである。

英国 GDP

- 14年Q4のGDP成長率は前期比+0.5%とQ3の同+0.7%から減速した。サービス業の生産は同+0.7%と堅調だったが、建設業が同-1.8%と大幅に落ち込んだ
- 14年通年の成長率は+2.6%となり、13年の+1.7%から加速した
- なお、14年Q4の需要項目を含むGDP統計は2月26日公表予定



英国の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4
実質GDP	0.1	-0.2	0.8	-0.3	0.6	0.6	0.7	0.4	0.6	0.8	0.7	0.5
個人消費	0.3	0.3	0.1	0.5	0.5	0.4	0.5	0.3	0.6	0.6	1.0	-
政府消費	3.5	-2.6	0.6	0.1	0.2	-0.7	0.5	-0.1	0.2	1.4	0.3	-
総固定資本形成	-0.1	-1.6	-0.9	1.1	1.0	0.6	2.7	2.3	2.2	1.6	0.1	-
政府部門	7.9	-2.0	-12.9	1.7	-0.1	-3.2	0.1	1.3	6.3	-11.7	10.3	-
企業部門	0.2	-0.8	3.1	0.9	1.0	-0.4	3.8	2.7	0.7	3.2	-1.4	-
民間住宅投資	-2.6	-4.5	-1.2	0.2	0.8	5.8	1.5	1.1	5.8	3.5	-0.5	-
輸出	-0.1	-0.8	2.0	-1.6	0.6	4.6	-3.4	-1.3	0.6	-0.8	0.6	-
輸入	1.1	0.2	1.6	-0.8	-2.2	3.8	1.9	-1.4	0.4	-1.7	1.3	-

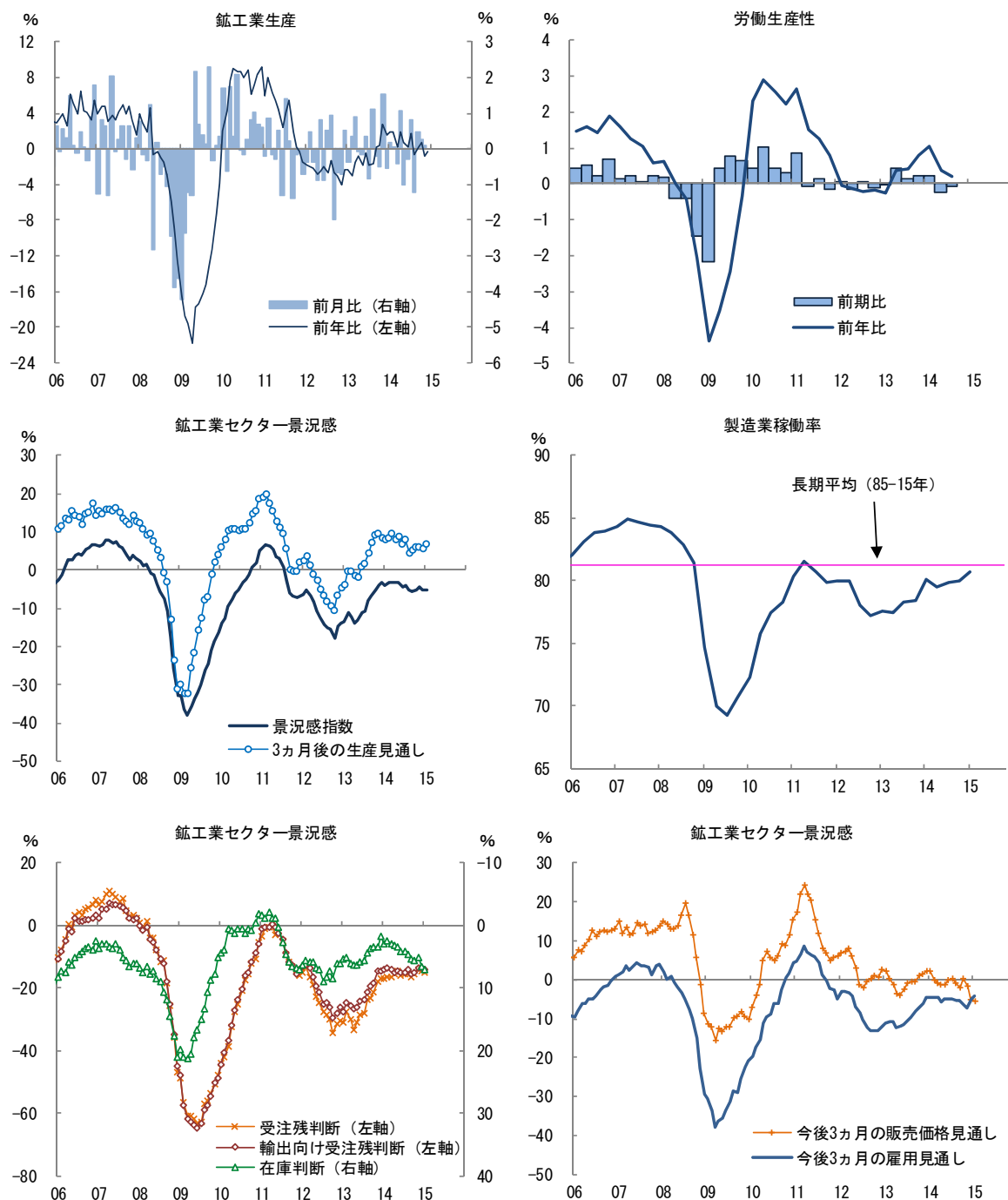
英国の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4
実質GDP	0.07	-0.18	0.83	-0.34	0.60	0.64	0.72	0.41	0.61	0.81	0.74	0.50
個人消費	0.20	0.21	0.09	0.29	0.34	0.26	0.35	0.21	0.38	0.37	0.61	-
政府消費	0.74	-0.55	0.13	0.03	0.05	-0.14	0.10	-0.01	0.05	0.28	0.06	-
総固定資本形成	-0.01	-0.26	-0.15	0.17	0.17	0.09	0.43	0.38	0.36	0.28	0.02	-
政府部門	0.20	-0.06	-0.35	0.04	0.00	-0.08	0.00	0.03	0.14	-0.28	0.22	-
企業部門	0.01	-0.08	0.30	0.09	0.10	-0.04	0.37	0.27	0.07	0.33	-0.15	-
民間住宅投資	-0.08	-0.14	-0.04	0.01	0.02	0.17	0.05	0.03	0.18	0.12	-0.02	-
在庫変動	-0.50	0.72	0.67	-0.58	-0.79	0.29	1.55	-0.24	-0.21	-0.42	0.35	-
輸出	-0.02	-0.24	0.62	-0.51	0.18	1.41	-1.09	-0.41	0.18	-0.24	0.19	-
輸入	-0.35	-0.07	-0.53	0.26	0.73	-1.24	-0.62	0.48	-0.14	0.57	-0.41	-
純輸出	-0.37	-0.30	0.09	-0.25	0.91	0.17	-1.70	0.07	0.04	0.33	-0.23	-

出所：英国統計局、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 生産

- 12月の鉱工業生産は前月比横ばいと伸び悩み。消費財の生産が落ち込んだ
- 鉱工業セクター景況感は一進一退が続く中で、1月は小幅改善。構成項目の中で3ヵ月後の生産見通しが改善した
- 鉱工業セクターでは販売価格が下落すると予想する一方、雇用見通しは2ヵ月連続で改善

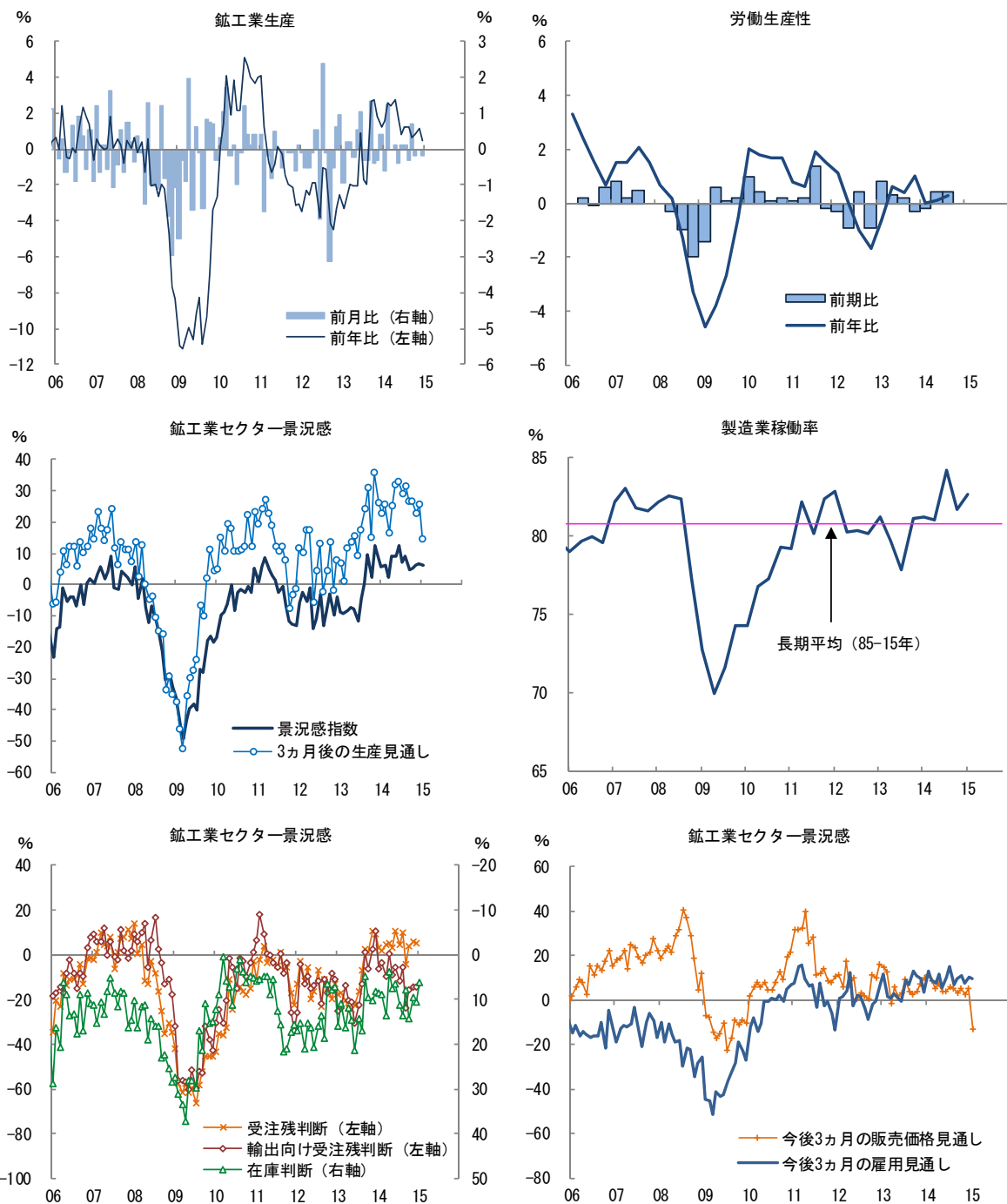


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

英国 生産

- 12月の鉱工業生産は前月比-0.2%と低迷。エネルギー生産の落ち込みが目立つ
- 1月の鉱工業セクター景況感は小幅悪化。構成項目のうち、受注残判断と在庫判断は小幅に改善したが、生産見通しが悪化した
- 鉱工業セクターの販売価格見通しは1月に急落した

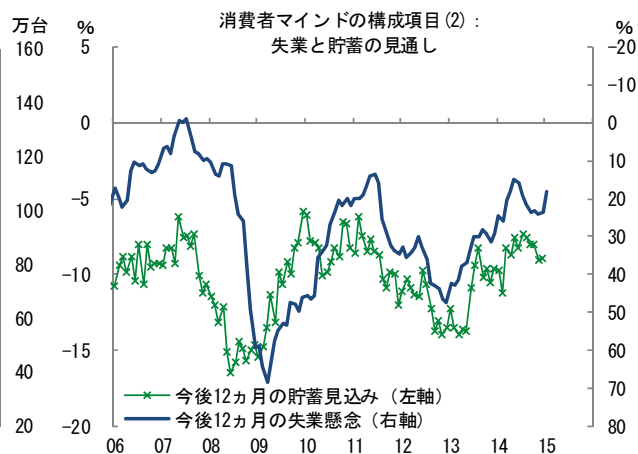
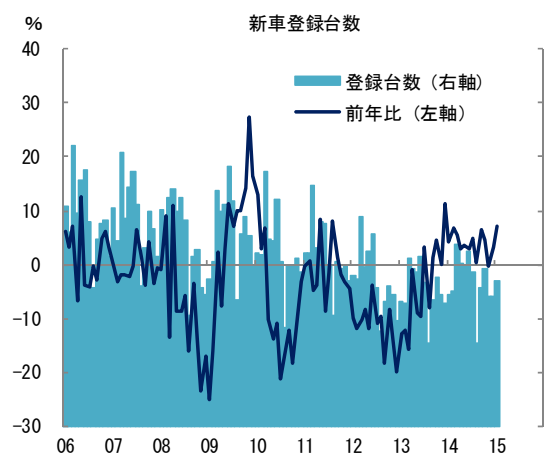
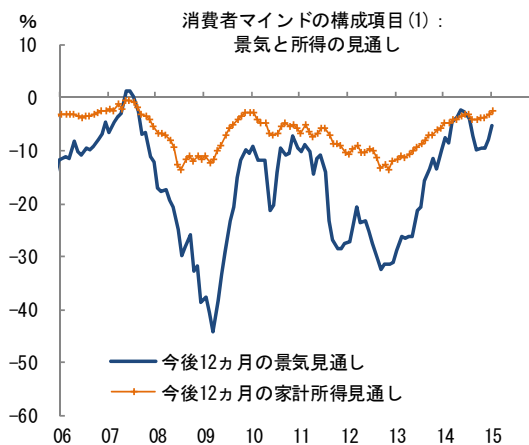
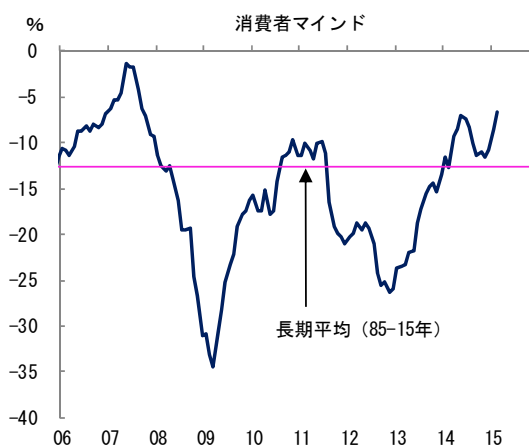
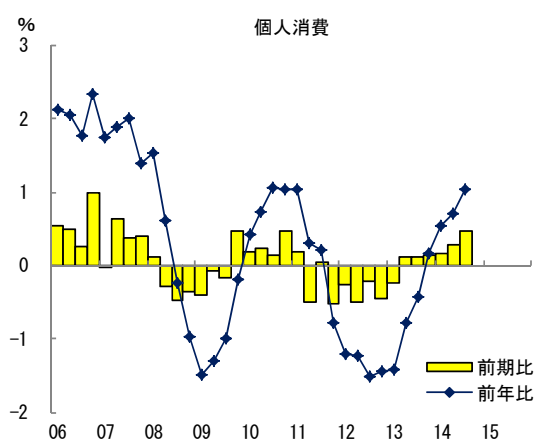


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会データより大和総研作成

ユーロ圏 消費

- 2月の消費者マインド（速報値）は一段と改善し、2007年9月以来の高水準となった
- 12月の小売売上高は前年比+2.8%に急加速。原油価格下落が消費を刺激したとみられる
- 1月の新車登録台数は前年比+7.0%と伸びが加速。2013年12月以来ほぼ1年ぶりの高い伸び率となった

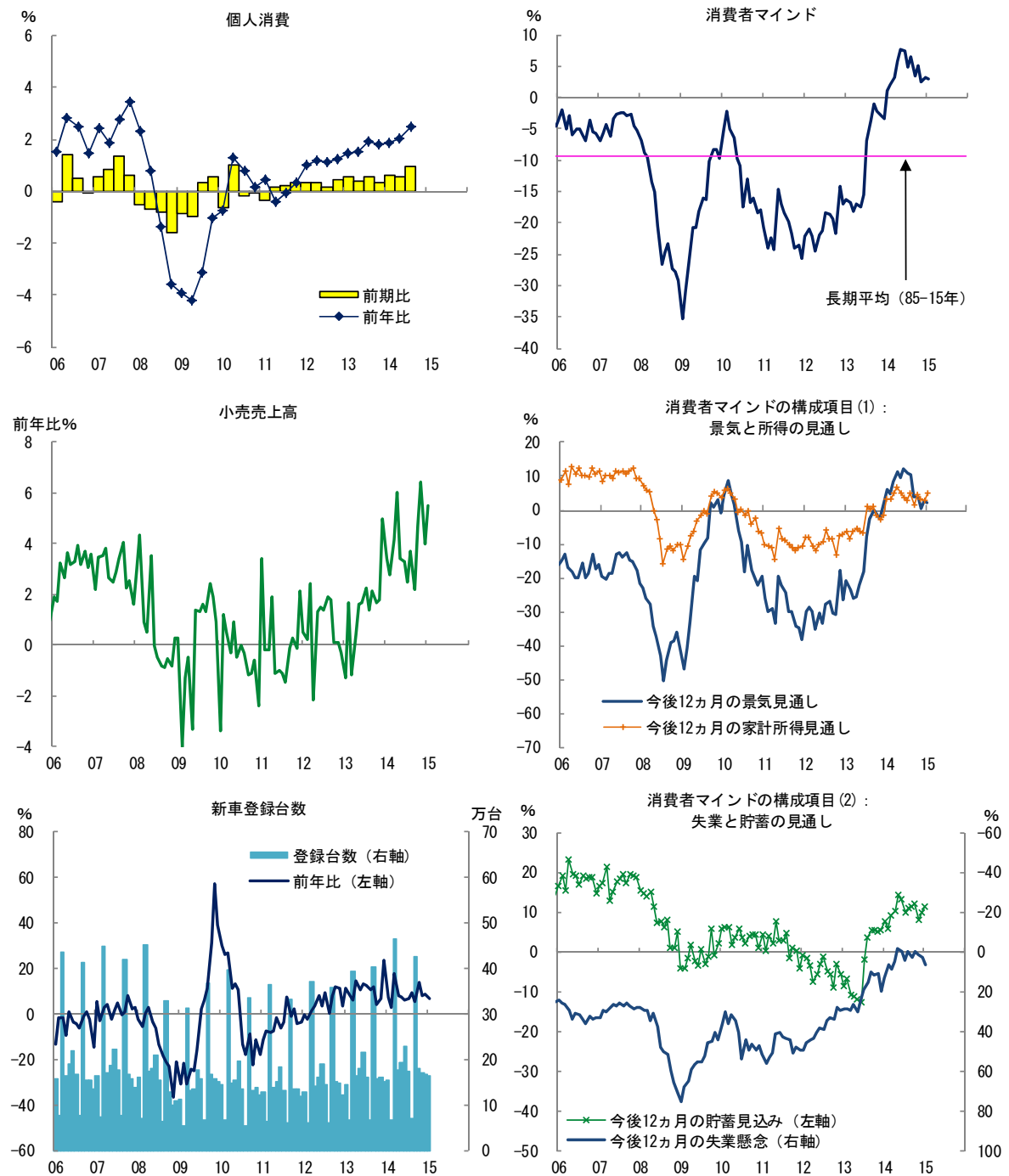


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

英国 消費

- 1月の小売売上高は前年比+5.4%と引き続き高い伸びを維持。原油価格の大幅下落も消費拡大を支援している
- 消費者マインドは85-15年の長期平均を大きく上回ったまま、1月は前月比ほぼ横ばい
- 1月の新車登録台数は前年比+6.7%

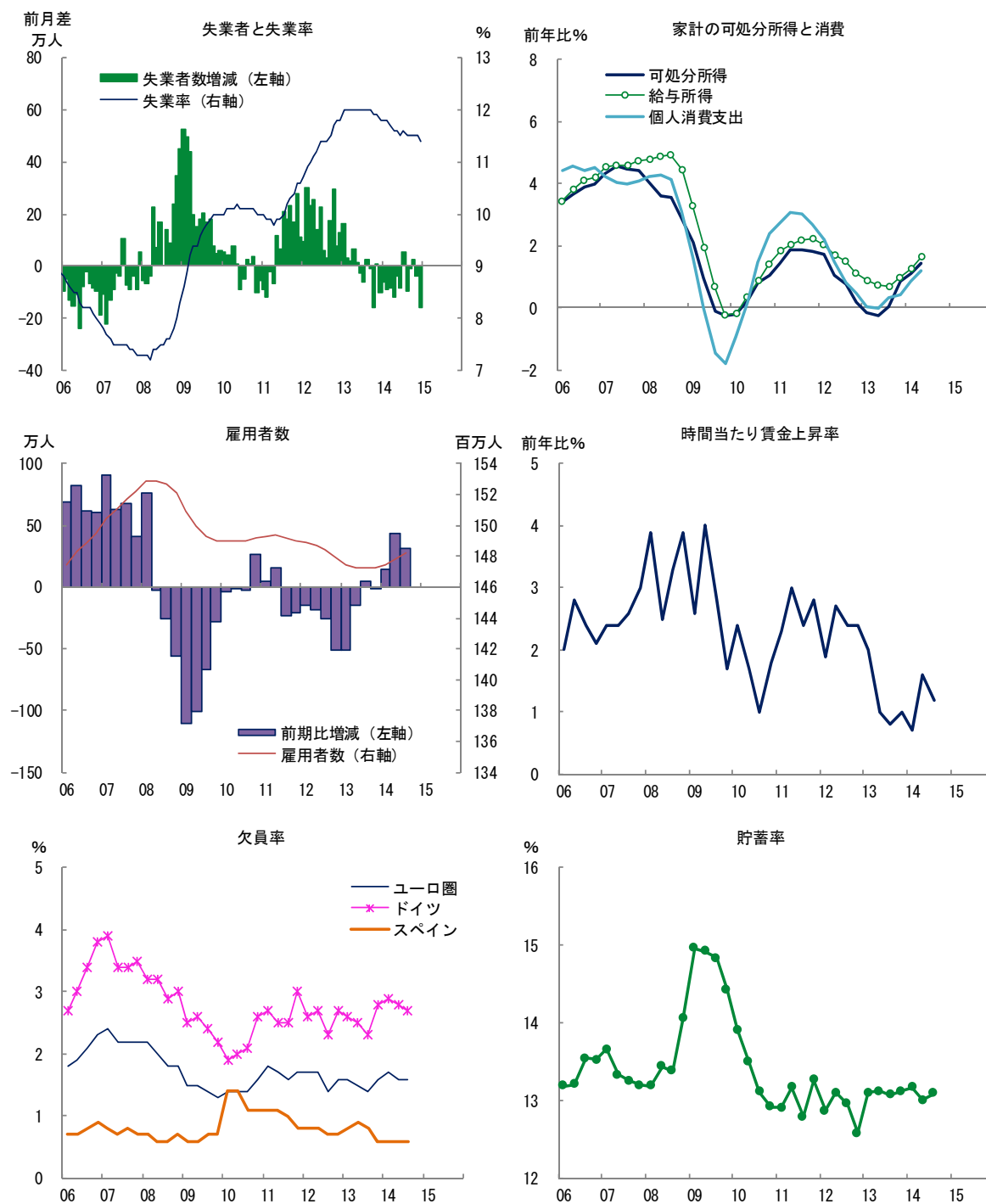


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

ユーロ圏 雇用・所得

- 12月の失業率は11月の11.5%から11.4%に低下
- 失業者数は12月には前月比15.7万人減となったが、イタリア（同10.9万人減）、ドイツ（同3.0万人減）、スペイン（同1.2万人減）の貢献が大きかった
- 14年Q3の貯蓄率は13.1%と過去1年半の水準から変化なし

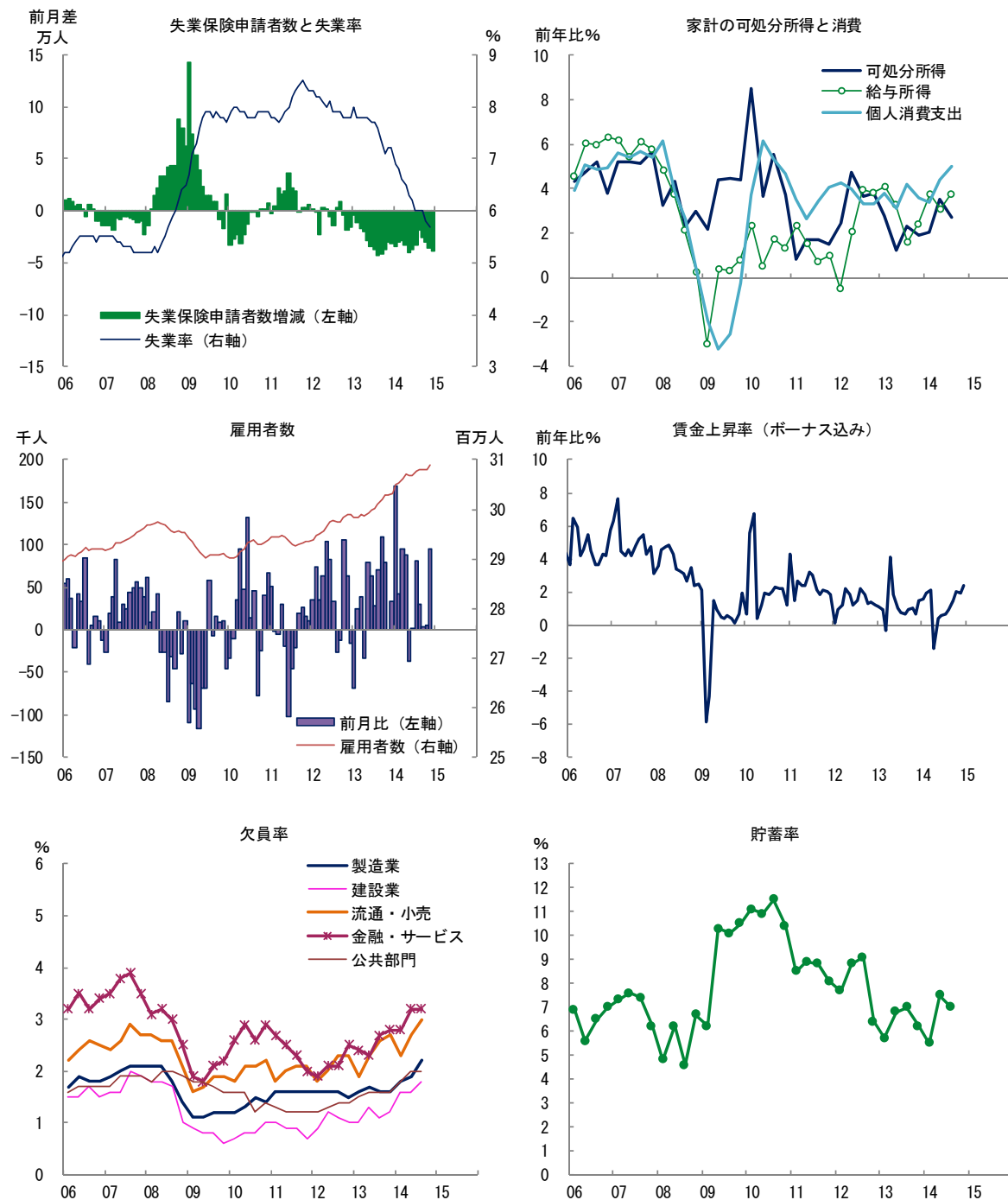


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = $\text{Number of job vacancies} / (\text{Number of occupied posts} + \text{Number of job vacancies}) \times 100$

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成

英国 雇用・所得

- 10-12月の失業率は5.7%に低下。なお、1月の失業保険申請者数は前月比3.9万人減と、27ヵ月連続で減少しており、失業率の低下傾向が2015年も継続することを示唆している
- 11月の雇用者数は前月比9.5万人増の3,090万人
- 12月の賃金上昇率（ボーナス込）は前年比+2.4%に加速した。10-12月平均は同+2.1%と1年半ぶりに+2%台となった

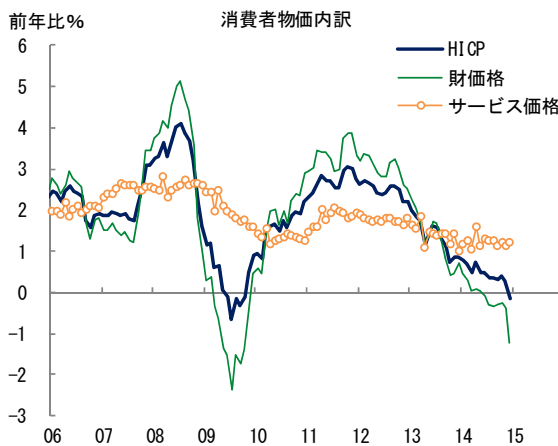
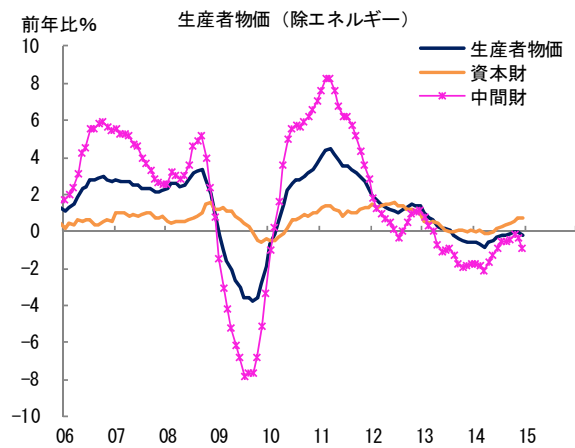


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) * 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 物価

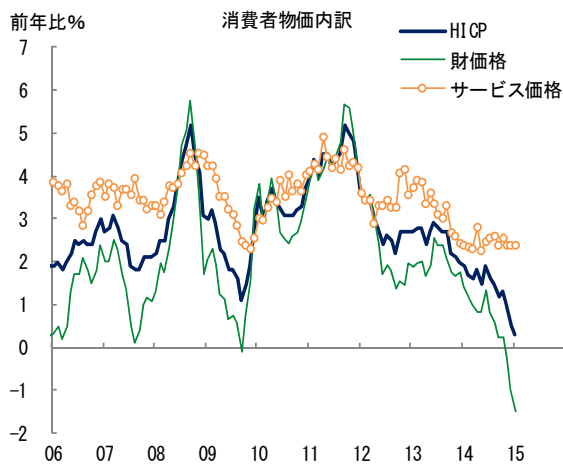
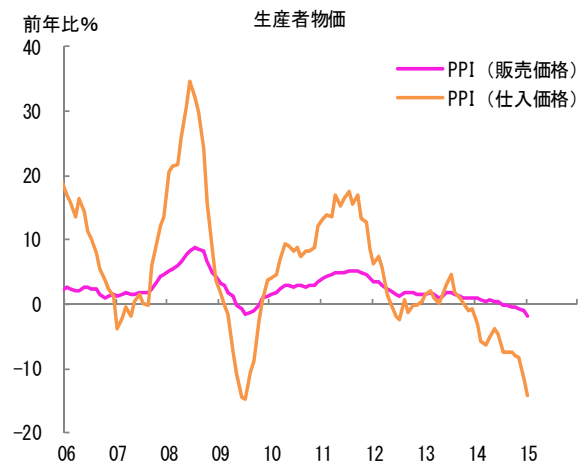
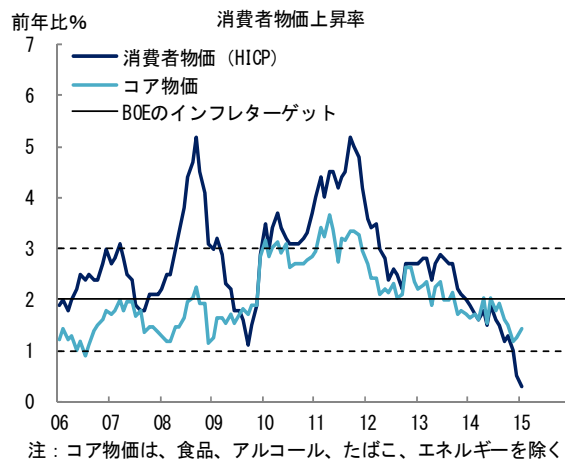
- 1月の消費者物価（HICP）上昇率の速報値は前年比 -0.6% と12月の同 -0.2% からさらに落ち込んだ。エネルギー価格が同 -8.9% と大幅な物価押し下げ要因である
- 12月の生産者物価は前年比 -0.2% となり、17ヵ月連続で前年割れ
- 1月の原油価格（北海ブレント）は続落し、1バレルあたり48ドルに低下した。また、ユーロの名目実効為替レートは1月に改めて下落した



出所：Eurostat、ECB、ドイツ連銀データより大和総研作成

英国 物価

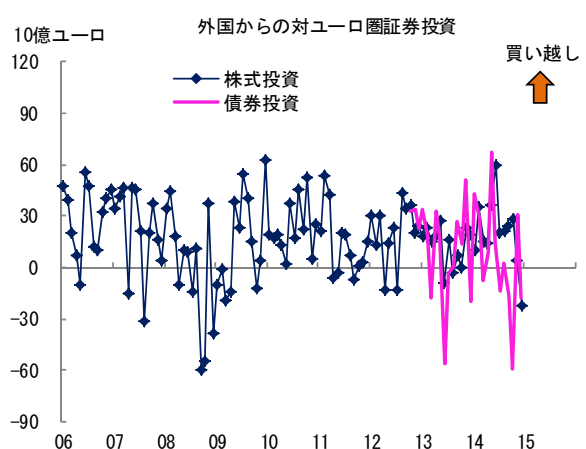
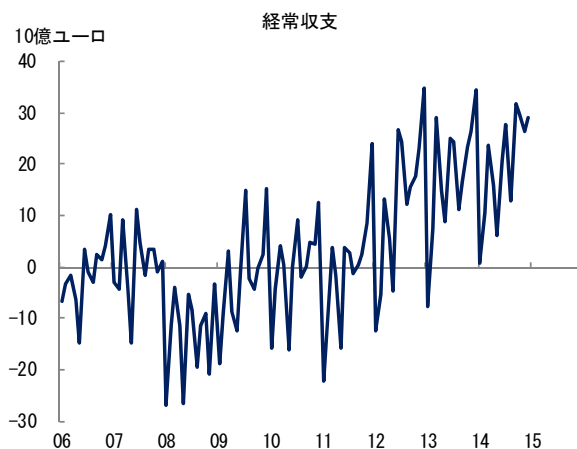
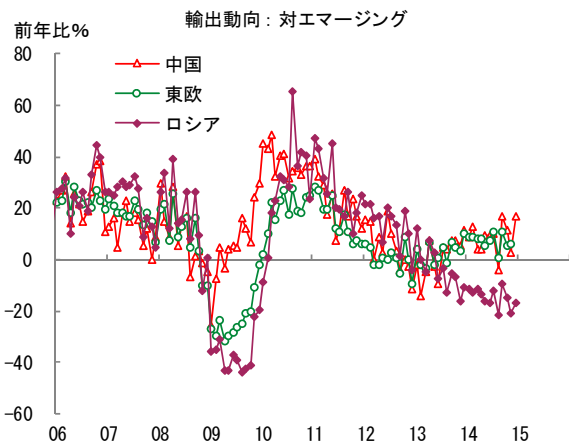
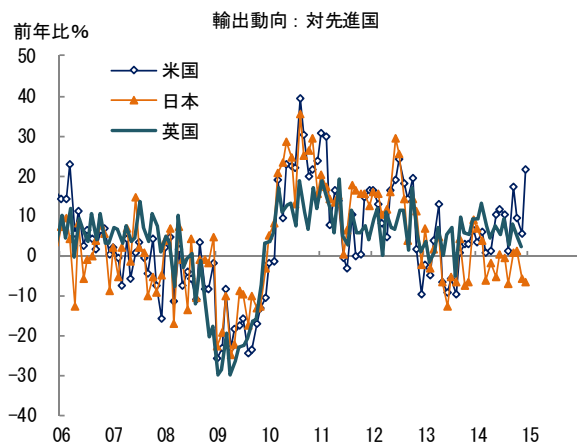
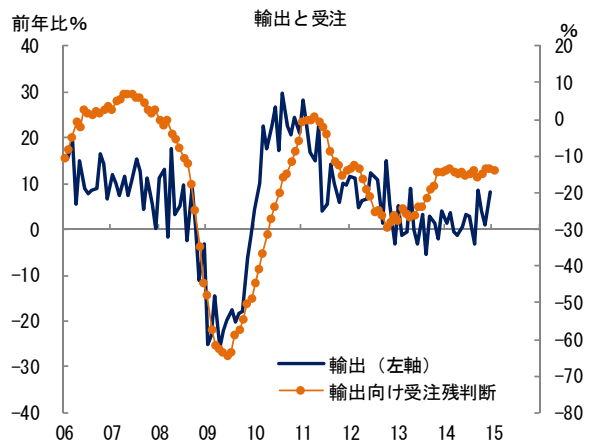
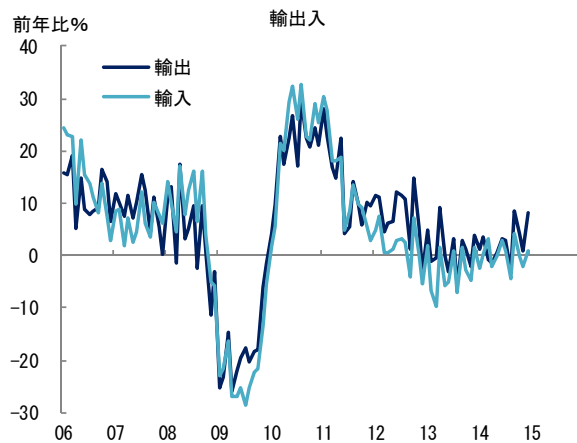
- 1月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+0.3%に低下。エネルギー価格が同-8.4%と落ち込んだ影響が大きい。なお、コア物価は同+1.4%と12月比で小幅加速
- 1月の生産者物価上昇率は、仕入価格は前年比-14.2%、販売価格は同-1.8%と共に下落幅が拡大。
- ポンドの名目実効為替レートは1月は2ヵ月連続となる小幅上昇



出所：Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 国際収支

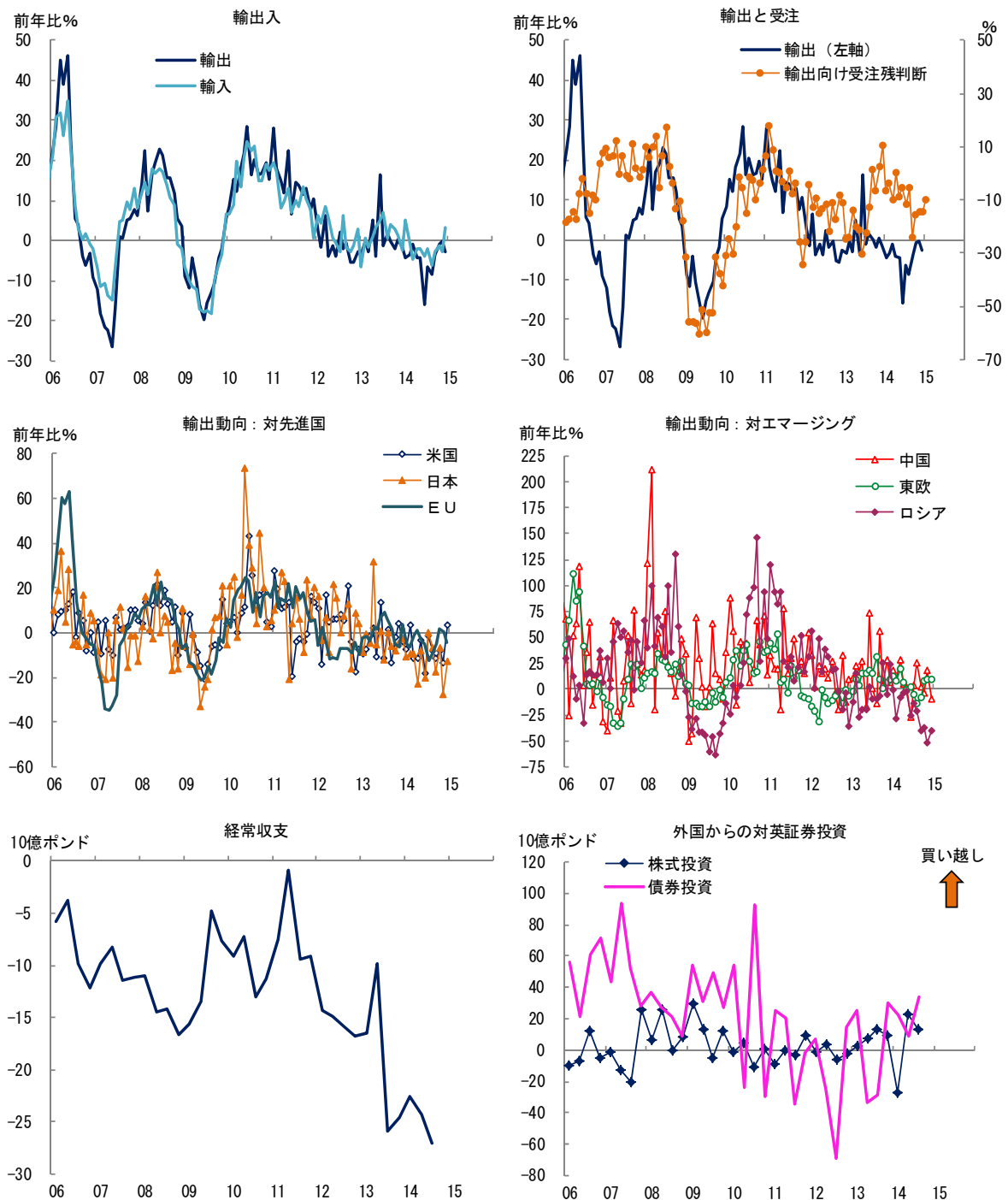
- 12月の輸出は前年比+8.1%に急加速、輸入は同+1.0%と小幅ながら増加に転じた
- 国別輸出動向をみると、米国、中国向けの輸出の伸び加速が目立つ。なお、ロシア向けは不振が続いている
- 1月の対ユーロ圏の証券投資では、債券投資と株式投資がそろって売り越しに転じた



出所：Eurostat、ECB データより大和総研作成

英国 国際収支

- 12月の輸出は前年比-2.8%となり、前年割れは実に13ヵ月連続となった
- 国別輸出動向をみると、EU、ロシア、日本向けが振るわないことに加えて中国向けも改めて前年割れとなってしまった
- 一方、12月の輸入は同+3.1%と11ヵ月ぶりに拡大に転じた



出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成